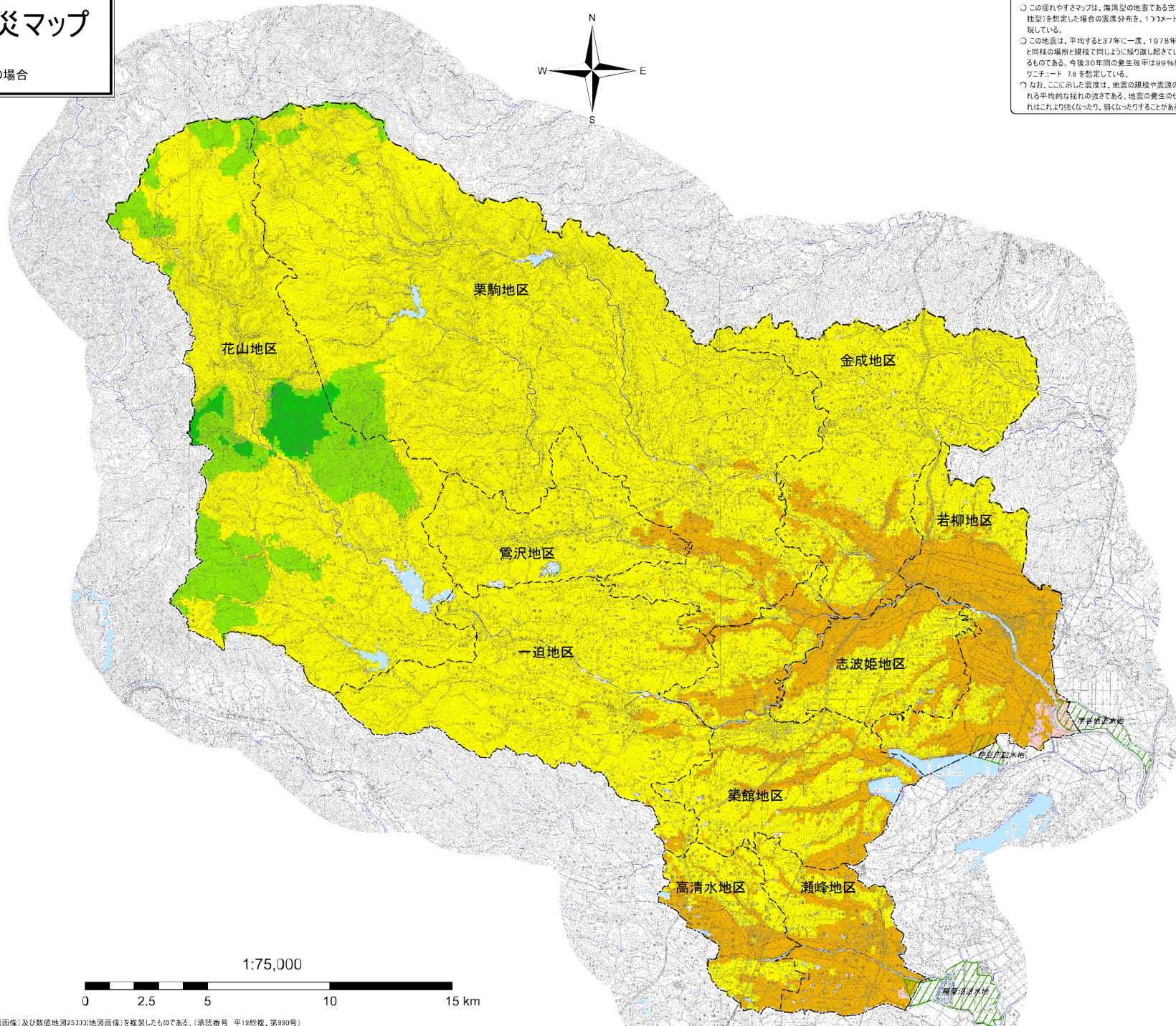


栗原市地震防災マップ

揺れやすさマップ

宮城県沖地震(単独型)の場合

○この揺れやすさマップは、海溝型の地震である宮城県沖地震(単独型)を想定した場合の震度分布を、17メートルメッシュ毎に表示している。
○この地震は、平均すると37年に一度、1978年の宮城県沖地震と同様の場所と規模と同じように繰り返し起きると考えられているものである。今後30年間の発生確率は99%といわれている。マグニチュード 7.6 を想定している。
○なお、ここに示した震度は、地震の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さである。地震の発生の方角によっては、揺れはこれより強くなったり、弱くなったりすることがある。



凡例

震度

震度2以下
震度3
震度4
震度5弱
震度5強
震度6弱
震度6強(1)
震度6強(2)
震度6強(3)
震度6強(4)
震度6強(5)
震度7

1:75,000



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平19総検、第980号)